

冬鳥観察会

2月1日、服部緑地でとよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会の三宅さんを講師に迎えて開催されました。渡り鳥が多く、葉が落ちている冬が観察にもってこいとのこと。約2時間のうちに、水辺の鳥14種類、山野の鳥13種類を観察できました。



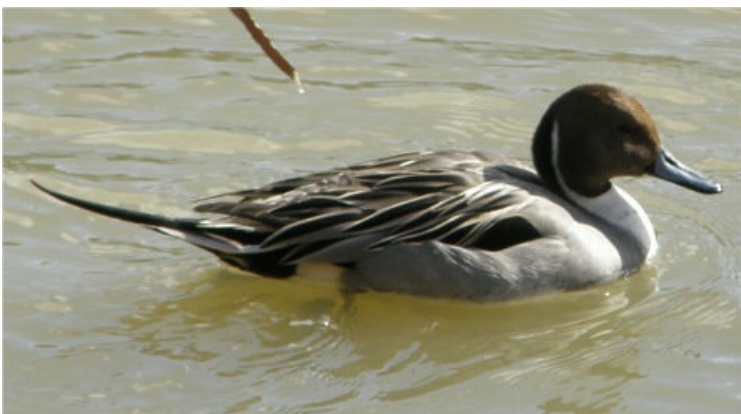
ど素人の私自身が珍しいと思った鳥を紹介します。



←最初に訪れた新宮池にいたゴイサギ。



←カモは全部一緒と思ってましたが、違ってますね。こちらはキンクロハジロ。



←うずわ池で目だっていたのはオナガガモ。



←そしてハシビロカモ。



←こちらはカモではなく、バン。先生がいなければ分かりません。



地味ですけど、ヒヨドリ。名前はよく聞きますが、マジマジと見たのは初めて。



民家集落の近くに群れていたカワラヒワ。小さくて、今までならスズメかと思っておりましたね。尾が M 字になっているのが特徴。



ちかくの森にいたシロハラは名前の通り、白い腹。覚えやすい。



そして、本日一番人気のカワセミ。ピンボケが悔やまれる。場所は日本庭園。そーっと近寄ってください。



山ヶ池にもたくさんカモがいましたが、この見所は、右のヨシガモ。グリーンが鮮やか。

他にもオレンジ色が美しいジョビタキもいましたが、あまりにもピントが外れてたので割愛しました。ぜひ、自分の目で見に行ってください。私は早速、来週スカウトに受け売りする予定。

広報委員会 妹尾